

## 平成30年飯田賞推薦書

1. 候補賞名 [  本賞 ] ・ 奨励賞 ] (どちらかに○印をお付け下さい。)

2. 候補者氏名 本郷 太郎

生年月日： (  昭 ・ 平 ) 30年 6月 15日生 ( 62歳)

職 業： 義肢装具士

所 属： 双葉アカデミック義肢装具製作所

連絡先住所： 〒113-0033 文京区本郷9丁目-9-9

TEL：03-3812-9999

日本義肢装具学会入会年月日： (  昭 ・ 平 ) 61年 9月 1日入会  
(ご不明の場合は事務局までお問い合わせください)

3. 推薦者氏名 文京 一郎  (複数推薦者可)

※自筆サイン。連名での推薦の場合は別途用紙を作成し、添付してください。

職 業： 義肢装具士

所 属： 所沢リハビリテーションセンター

推 薦 日： 平成 30年 4月 1日

4. 推薦表題及びその理由

「 永年の義足歩行分析の研究 」

本郷太郎氏は1982年、アメリカロサンゼルスリハビリテーション大学で義足に関する歩行分析を学び、1986年4月、所沢リハビリテーションセンターに義肢装具士として就職し、臨床を通して義足歩行のメカニズムの解明に努めた。その後、様々な下肢切断者の義足歩行を研究するため、現在の双葉アカデミック義肢装具製作所に1990年に就職し現在に至る。その間、ロサンゼルスリハビリテーション大学への留学経験をもとに、リハビリテーション工学の分野において義足の歩行分析の研究を行い、義足歩行のメカニズムを理論的に解明し体系付け、教育や臨床に大きく貢献した。別紙業績目録のとおり、多数の研究発表、著書を残した。

また氏は、アジア義肢装具学会編集委員会日本支部支部長、日本義肢装具協会会長、リハビリテーション学校義肢学科非常勤講師を努めるなど、その活動範囲は多方面に及び、義肢装具の開発・発展に大きな貢献をしている。この業績は飯田賞本賞に十分値すると思われる。

以上のことから氏を平成30年飯田賞本賞に推薦致します。

## 5. 学歴

- 1973年 東京都立双葉高等学校卒業
- 1977年 私立双葉大学工学部卒業
- 1980年 リハビリテーションセンター学校義肢装具学科卒業
- 1982年 アメリカロサンゼルスリハビリテーション大学義肢装具学科留学
- 1985年 同大学終了

## 6. 職歴

- 1986年 所沢リハビリテーションセンター就職
- 1990年 同センター退職
- 1990年 双葉アカデミック義肢装具製作所就職
- 2005年 リハビリテーション学校義肢学科非常勤講師  
現在に至る

## 7. 資格

- 義肢装具士（1985年）

## 8. 賞罰

- 1996年 文京区福祉協議会より身障者更生に対する貢献により表彰される。

## 9. 業績目録

### 【著書】

著者名（共著者名）：表題名、編者名、書名、版数、最初の頁～最後の頁、出版社名、発行年の順で記載して下さい。ただし義肢装具に関連したもののみとします。

1. 本郷太郎：大腿義足歩行.. 飯田一郎編集：義肢学、第2巻、45－50、文京出版社、1990
2. 松 梅子、本郷太郎、田沢慎一郎：義足歩行のメカニズム. 文京出版社、1992

【学術論文】

著者名（共著者名）：論文表題名. 発表雑誌名, 巻（号）：最初の頁～最後の頁、発行年の順で記入して下さい。ただし義肢装具に関連したもののみとします。

1. 本郷太郎：大腿義足歩行の研究. 日本義肢装具学会誌、13（2）：45－50、1988
2. Take,R.,Namiki.T. and Iida,I.:Comparative evaluation of polycentric knee Joint. J. Orthotics and Prosthetics,5:23-25, 1993

【学会発表】

発表者名（共同発表者名）：演題名．発表学会の名称、発表年の順で記入して下さい。  
ただし、日本義肢装具学会およびISPO以外のものは、義肢装具に関連したもののみとします。

1. 本郷太郎、松 梅子、竹 力夫：両側大腿切断者に対する義足の使用経験  
第3回日本義肢装具学会、1991
2. 松 梅子、田沢慎一郎、本郷太郎：義足の膝継手. 第4回義肢装具士協会研究会、1992
3. Take,R.,Namiki.T. and Iida,I.:Comparative evaluation of polycentric knee Joint. 7 th  
I S P O, Chicago,1992

